



428号
 〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2 日港
 福会館 5階
 Tel 03(3733)5621 Fax 03(3733)5622
 メール roren@kensu.jp
 ホームページ http://www.kensu.jp/
 全国検数労働組合連合
 書記局



**6月20日(木) 10:00~11:00 第2回 検数労連13夏季一時金交渉
 スト権集約結果、各項目95%以上の賛成票で確立！
 両協会の有額回答に対する考え方に対し、組合は労組要求に沿った回答の構築を求める！**

第2回13夏季一時金交渉経過

6月20日(木)第2回検数労連13夏季一時金交渉が開催され、組合は両協会に対し、基礎数字と今夏季一時金の有額回答に対する考え方を求めました。

基礎数字については資料を組合に提示し、説明を行ったあと、次のとおり、今夏季一時金に対する考え方の説明を披瀝しました。

【全日検】

6月13日に行われた企業内の労使懇談会の場でも説明したが、平成24年度は一定の剰余を残すことができた。しかし、アベノミクスによる株価や為替レートの乱高下によって不安定な経済状況の中で、平成25年度は楽観視できない状況とみている。

そのような中で、今後行われる企業内での機関会議を経て一時金回答を構築していくが、現時点で言えることは、算式については従来通りを踏襲していく考えである。また、近年、乗率を一定積み上げた回答を構築してきたが、今夏季一時金については年齢構成の低下を踏まえた回答を検討している。

【日検協会】

平成24年度については一定の収益を上げることができたが、平成24年度下期から、鉄鋼関係を中心に事業計画を上回ったものの、減少傾向にある。

また、各支部の収支状況では増減もあるが、全体的には収益は下がってきている。労組趣旨説明の内容にもあったように、平成25年度はユーロ圏での経済不安があることも懸念している。

今夏季一時金回答に対する考え方としては、算式はこれまで通りとし、労組主張も含め、総合的に検討していく。

【組合主張】

両協会の今夏季一時金に対する考え方を受け、組合は次のとおり主張をおこなった上で、26日の『有額回答指定日』に労組要求に沿った回答を構築するように両協会に求めました。

- ①今夏季一時金のスト権については、各項目で95%以上の高率で確立したことを通知する。
- ②両協会ともに厳しい状況下との説明をしている

が、リーマンショック以降、両協会の事業基盤回復の原動力となったのは、従業員の努力の成果である。そういう意味からも、組合要求に沿った回答を構築するべく、26日の有額回答指定日には労組要求に基づく回答を求めると同時に、出せるだけの企業体力を持ち合わせていると確信している。

【全日検に対して】

①従来どおりの回答を検討しているとの説明がされたが、組合としては、要求していない役付・特別評価については反対する。また、調整加算に含まれている業績部分については不透明であり、都市調整と切り離れた回答を求める。

②見習い職員・契約職員、雇員等の一時金についても、日頃の労苦に応えるべく、労組要求に沿った『職員と同等の有額回答』を求める。

【日検に対して】

①過去の収支状況と一時金の回答実績を対比してみると、今夏季一時金回答は、組合要求に沿った回答を構築できるだけの材料は整っていると見える。よって、26日の有額回答指定日には労組要求に沿った回答の提示を求める。

スト権集約結果

地区	項目	賛成	反対	白紙	棄権	合計
全	夏季一時金	752	9	7	3	771
	諸要求	744	10	13	4	771
国	国民的課題	738	21	7	5	771

次回交渉

第3回検数労連13夏季一時金交渉

6月26日(水) 15:30~

(有額回答指定日)

組合員及び、地域闘争委員は注目せよ